

令和3年度 第2号



川崎平右衛門供養塔 (小金井市)

享保年間、幕府の政策で武蔵野新田の開発が行なわれましたが、困窮する出百姓が続出して新田の農村の存続の危機を招きました。

そこで幕府は押立村(現・府中市)の名主川崎平右衛門定孝を元文4年に南北武蔵野新田世話役に登用し、武蔵野新田の振興に当たらせました。平右衛門は田方養料の名目で幕府から補助金を借り、一時に分配せず肥料をまとめて買い、必要分だけを渡す養料金制度や貯穀などによって、出百姓の生活の安定化を図りました。

この供養塔は寛政7年に関野新田をはじめ近隣7カ村の新田農民が、平右衛門の遺徳を偲んで造立したものです。

所在地：小金井市関野町2-8-4 真蔵院

■ 目次 ■

巻頭言 署長挨拶……………(1)

令和4年 新春のつどい……………(2)

第7ブロック保護司組織運営連絡協議会……………(2)

秋の褒章受章者……………(2)

東京更生保護事業関係者顕彰式典……………(3)

東京保護観察所との意見交換……………(3)

並びに三鷹市長訪問……………(4)

主任官挨拶 BBS会……………(4)

退任保護司紹介 弔意……………(4)

お知らせ……………(4)

編集後記……………(4)

小金井警察署長の野中でございます。近年、新型コロナウイルス感染症によって長期に渡り制限された生活を強いられている中、明るい兆しも見え始め、少しずつ通常業務を取り戻しつつあるところでございますが、北多摩東地区保護司会の皆様方におかれましては日々更生保護活動にご尽力されておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、最近における少年犯罪は、インターネットの普及により闇サイトを利用する犯罪が潜在化しており、小遣い銭稼ぎを目的とした募集サイトや友人関係の繋がりがから犯罪組織に加担してしまい、振り込め詐欺事件の出し子として稼働する等、悪質巧妙化している傾向にあります。

このような事案に対しては、被疑者の検挙やサイバー犯罪対策はもちろんのこと、関係機関及び少年警察ボランティアとの緊密な連携により「非行少年を生まない社会づくり」を推進するとともに、不良行為少年等に、た取り締まりにより、少年の健全育成に取り組んでいくところであります。

私たち警察は「都民が安全で安心して暮らせる街」の実現に向け、発生した犯罪については、被疑者の検挙による事件解決に全力を注ぎ管内の治安維持に邁進することはもとより、都民・国民の期待に応える警察業務につきましても強力に推進してまいります。

その目的を達成するために北多摩東地区保護司会の皆様方と連携し、犯罪者や非行少年の立ち直り支援を一枚岩として推進することが最も大切なことと考えておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、北多摩東地区保護司会の益々のご隆盛と保護司の皆様方の健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



署長挨拶  
野中 好明  
小金井警察署長

対しては、補導活動を強化し、日夜分かつ発生する犯罪に対しては、徹底し



令和4年新春のつどい

例年行われていた北多摩東地区保護司会「初春研修・新年会」が、新型コロナウイルス感染症予防の観点より、「新春のつどい」として内容及び規模を縮小し、1月13日に武蔵野スイングビルにおいて開催されました。会員41名、来賓1名の出席でした。

小山茂会長の挨拶に続き、東京保護観察所立川支部藤井淑子支部長よりご挨拶をいただきました。

その後、令和3年に藍綬褒章を受章された田中良人監事(国分寺分区)及び法務大臣表彰を受けた川口章洋保護司(三鷹分区)へ藤井支部長より記念品が贈呈さ



令和3年褒章受章表彰記念

れ、他の表彰者については小山会長より贈呈されました。

休憩後、東京消防庁第十消防方面本部長・消防正監加藤俊之様より「災害時における自助・共助・公助」と題し、災害の危険と隣り合わせにいる私たちの身を守るため、何をすべきかをお話しいただきました。



東京消防庁 加藤俊之様

「大規模な災害は、公助だけでは対応が困難であり、自身を守ることによる、大切な人を守れます(自助)。利他の心を忘れずに、協力しあってください(共助)。必ず助けが来ます(公助)。それまで皆協力しあってください」とまとめられました。

われわれ保護司も、災害時に助ける公助の一翼を担う必要性を改めて痛感しました。年の初めに有意義な講演を聞いて「新春のつどい」が終わりました。

(総務部長 小川 和男)

第7ブロック保護司組織運営連絡協議会

開催日 令和3年10月27日

今年度の協議会もZoomによるリモート方式で、サポートセンターにて行いました。北多摩東地区からは19名が参加しました。

議題は「保護司活動のICT化について」。発表は三鷹分区の松村が担当しました。

協議会は2回目のリモートということで、皆が慣れてきたようです。発表者グループと視聴グループの二室に分かれてスタートしました。



「保護司活動のICT化」の問題は、コロナ禍の中、必然的に導入が始まりました。個人も分区も、それに対応しつつも、戸惑いも多く、いろいろな意見が出されました。発表にあたり、各分区はアンケートを取ったり、事務局と意見交換をしたりしました。幅広い年齢層の保護司会にとつて、ICT化は最初の段階での共

通認識がありません。電子機器を利用してのICT化の課題は、個人の関心度や習熟度が一律ではないことなど問題点も多くあります。リモート会議では、会議内容以外で雑談による情報交換が難しい。地域別定例研修のQRコードによる受講は「いつでも、どこでも」の便利な面が多いが、「人と人とのつながり」を大切に保つて護司としては、集って講義を聞くことの必要性を強く感じる、と発表を締めました。

今後も「ICT化」の流れは続いていく方向です。早急すぎて戸惑いによる不協和音が出ないよう、ハイブリッド方式での進行がのぞましいようです。他地区の意見を聞き、私たちの保護司会の「ICT化」推進を考える意義のある協議会でした。

(三鷹分区 松村 久子)



秋の褒章受章者  
藍綬褒章



国分寺分区 田中 良人氏

秋の褒章において、田中良人氏が藍綬褒章の栄に浴されました。

田中氏は平成11年9月、保護司を拝命、令和元年に法務大臣表彰を受章、22年にわたり多くのケースを担当する傍ら、当保護司会の副会長として、また、国分寺分区長として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

東京更生保護事業関係者顕彰式典

令和3年度の東京更生保護事業関係者顕彰式典では、北多摩東地区保護司会の関係者34名の方々がその功績を顕彰されました。

藍綬褒章(秋)

田中 良人(国分寺)

法務大臣表彰

川口 章 洋(三鷹)

全国保護司連盟理事長表彰

千本木 勘博(小金井)

宮下 みさ子(武蔵野)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

山崎 祐子(武蔵野)

鈴木 忠良(小金井)

高橋 豊(武蔵野)

中里 英亮(武蔵野)

水野 瑠美(国分寺)

三ツ木 静江(国分寺)

宮崎 邦子(国分寺)

吉野 武(三鷹)

関東地方保護司連盟会長表彰

青山 真市郎(武蔵野)

尾作 義明(国分寺)

小森 裕史(国分寺)

小山 直子(小金井)

中川 知子(武蔵野)

緑川 道夫(国分寺)

渡邊 芳弘(武蔵野)

東京保護観察所長表彰

伊藤 さつき(武蔵野)

木川 憲子(武蔵野)

内藤 達也(国分寺)

東京都保護司会連合会会長表彰

大久保 忍(三鷹)

霜鳥 文美恵(小金井)

森屋 正(三鷹)

和田 俊彦(三鷹)

関東地方更生保護委員会委員長感謝状

更生保護女性会員

鈴木 汎子(国分寺)

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

片野 理代(三鷹)

井上 たき子(国分寺)

東京保護観察所長感謝状

家族功労者

千本木 明美(小金井)

更生保護女性会員

佐藤 みよ子(三鷹)

新保 佳子(小金井)

東京更生保護女性連盟会長表彰

中野 美智子(三鷹)

村澤 禮子(武蔵野)

東京保護観察所との  
意見交換  
並びに三鷹市長訪問

令和3年12月14日、三鷹市教育センターで、東京保護観察所長古川芳昭氏、同立川支部長藤井淑子氏並びに北多摩東地区保護司会長小山茂氏と三鷹分区保護司会が意見交換を行いました。

所長より保護司の人材確保が喫緊



河村市長を囲み記念撮影

の課題で  
地方自治  
体の協力が  
急務であること、  
支部長から  
三鷹分区は5年  
後には急  
激に保護

司の減少が予想されるとの指摘がありました。

松村分区長より分区の保護司の現状、三鷹市の対応の報告、会員より保護司の人材確保の困難さ、面接場所の問題等の意見がありました。

意見交換後、所長、支部長、北東会長、三鷹分区長、分区員3名で河村孝三鷹市長を訪問し、所長より三鷹市へ保護司活動に対する理解と協力を求め、面接場所の確保、適任者の情報提供、市職員(OB)の推薦、市報等を活用した広報、市長表彰等の顕彰、再犯防止推進計画の策定の要請をしました。

市長からは、三鷹市が安心安全平和な町と言われていることに保護司の活動も寄与していると感謝の言葉をいただき、要請事項については協力していきたいとの回答をいただきました。特に面接場所の確保については、市の施設の専属利用を一つでも実現したいとのことでした。

保護司活動は家族の協力なしではできません。保護司の勧誘の際、保護観察対象者を家に入れることへの抵抗感から断られるケースもあります。

面接場所確保を実現し、保護司の成り手不足の解消につながることを願っています。

(三鷹分区 須藤 利一)



★主任官挨拶★



林田 実代

(武蔵野分区担当)

武蔵野分区は、私が新任保護観察官だったときに初めて担当した分区の一つであり、とても思い出深い地域です。今回二人の新任保護観察官と一緒に先輩という立場で配属され、当時を懐かしく思い出すとともに、改めて身が引き締まる思いで過ごしてきました。昨年度に続き、制約の多い状況下ではありますが、保護司の先生方の熱意や懐の深さ、優しさは少しも変わることなく、尊敬と感謝の気持ちで一杯です。今年度も残り僅かですが、引き続き三人で地域の安全のために連携して保護観察業務に取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



大内 麻裕

(小金井・国分寺分区担当)

小金井分区と国分寺分区を担当させていただいて大内と申します。今年度から、東京保護観察所立川支部に異動してまいりました。今年度は不安定な情勢が続く、あまり保護司の皆様と顔を合わせる機会に恵まれず、とても残念でした。しかし、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許さない状況が続くかと思われまますので、

まずは体調管理を第一に、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



渡邊 瑛輝

(三鷹分区担当)

三鷹分区を担当している渡邊瑛輝(てるき)と申します。今年度から初めて保護観察官として業務することとなり、三鷹分区をはじめ、北多摩東地区の皆様にはご負担をお掛けしておりますが、先生方にご協力いただきながら、なんとか業務を全うさせていただいております。今後も先生方と協力して保護観察対象者の指導・監督にあたっていききたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

BBS会



この度、北多摩東BBS会の会長になりました前田みゆりです。非行をした少年等への支援に関心がありBBSに入りましました。私たち大学2年生は入学時からコロナ禍で、授業もBBSの活動も従来とは異なり、上手くいかないことも多くあります。それでも支えて下さる方々と共に様々な活動を行っていきたく考えています。

副会長になりました飯島鈴音です。

様々な方との出会いを大切にしながら活動していきたいと思えます。よろしくお祈りします。(写真左・前田さん 右・飯島さん)

退任保護司

永い間お疲れ様でした。

今後もお元気で活躍ください。ますよう祈念申し上げます。

茂木 巖氏(武蔵野分区)

令和3年9月16日(在職36年)

真壁 敦子氏(三鷹分区)

令和3年9月16日(在職16年)

岡田 英一氏(三鷹分区)

令和3年9月16日(在職16年)

佐藤美由紀氏(小金井分区)

令和3年9月16日(在職12年)

堀内 正嗣氏(武蔵野分区)

令和3年9月2日(在職2年)

弔意

左記の保護司の方が逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山田 淑子氏(武蔵野分区)

令和3年10月20日逝去

享年78歳 (在職22年)

お知らせ

令和3年11月29日、サポートセンターが移転しました。

新サポートセンター住所

小金井市本町1-14-15

メゾン小金井105号室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった事業がありました。

令和3年度第Ⅲ期地域別定期研修

(DVDや動画配信による研修になります)

令和3年度多摩地区保護司会連絡協議会全体研修

編集後記

ウイルスに翻弄され保護司の活動も制約されますが、つながりが途切れぬよう活動しています。この中で今号の発行ができました。ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。原稿を読み「置かれた場所で咲きなさい」という教科書の文章を思い出しました。「無理に咲かなくてもいい その代わりに根を下へ下へ降ろして根を張るのです」とあります。この時期を次に咲くための準備としたいと思います。(広報部員一同)

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和四年三月一日発行

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 吉野武 電話〇九〇(二九〇〇)九六二五